

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 147	提案機関名	藤沢市漁業協同組合
要望問題 ハマグリ（チョウセンハマグリ）の種苗生産ならびに種苗放流の実施		
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 <p><背景> 藤沢市地先から平塚市地先の海面においては、かつてハマグリやバカガイを対象とした貝桁漁業が行われていましたが、近年は資源の減少により貝桁漁業は行われていません。当組合では、再生産によるハマグリ資源の増大を図る目的で、平成13年度からハマグリの親貝を放流していますが、単価の高い親貝の調達には資金がかかるため、放流量が限られてしまいます。また、先進県である茨城県によれば、海域におけるハマグリ資源増大を図るには種苗放流が効果的であるとのことですが、現在、ハマグリ種苗生産を実施しているのは茨城県のみで、他県への種苗の譲渡はしていないため、現実的に種苗の調達は不可能です。このことから、本県の研究機関においてハマグリの種苗生産ならびに種苗放流を実施していただきたく要望します。</p>		
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 <u>④5～10年以内</u>	
研究対応区分	<u>①研究所対応</u> ②委託研究 ③共同研究 ④その他	
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場 ③三浦試験場 ④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所 <u>⑥水産総合研究所</u> （ ⑦内水面試験場 ⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産総合研究所
部 署	栽培技術部
対応区分	①実施 ②実施中 <u>③継続検討</u> ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名	(①、②、④の場合)
対応の内容等	<p>現在、神奈川県では二枚貝の種苗生産技術の開発を行っておらず、施設と技術がありません。平成16年度に第5次栽培漁業基本計画の策定作業を行いますので、その作業の中で、種苗生産の可否を検討してまいります。</p>
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <u>③4～5年以内</u> ④5～10年以内
備考	